

自由詠

あとで！
なあ〜んて思っても
やるべきことは
すぐやらなくては。
忘れてしまうから



玉田 久美子



バスがゆるい坂をくだると
ひらける田園風景
折々に異なる色で
ホッと気がゆるむ
宗像歌会 好き

田上好江

人生100年時代とか
100年を
謳い文句にしながら
樹齢100年の樹木は
惜しげもなく斬り倒す



高原 美智子

初物のかぼす
みそ汁にキュッ！
さわやかな香りが
鼻に抜ける
初めての体験

杉下 啓恵



気温も
心意気も
あつい
コロナ明けの
各地のお祭り



かよべえ



ある日のこと
テラスのガラス戸を
のぞき込む 小さな猫
ゴメン 家の中はダメよ
家亡き猫も 外は暑すぎる！

宮島 かつえ

題詠 『くしゃみ』

くしゃん
と
可愛いくしゃみが
できず
おっさんくしゃみ

岡本 まゆ子



目を細め
鼻をひくひく
ハッハクション
気は小さくも
クシャミは豪快

かよべえ

肌かけの
たよりのなれど
くしゃみが・・・
忍び込む冷気
身をよじる



玉田 久美子